

准教授

天本 理恵

■ 学歴

1. 2000年 中村学園大学大学院栄養科学研究科栄養科学専攻（修士課程）修了

■ 学位

1. 2012年 博士（医学）

■ 研究分野

1. 応用栄養学 分野（母性栄養、小児栄養）
2. 栄養代謝（生活習慣病とミトコンドリア）
- 3.

■ 研究キーワード

1. 生活習慣病とミトコンドリア
2. 栄養代謝（葉酸等）
- 3.

■ 研究課題

1. 生活習慣病（主に癌や加齢性疾患）とエネルギーおよび栄養代謝（ミトコンドリアを中心に）との関連を形態学、分子生物学的に検討する。また、葉酸とミトコンドリア機能の関連性についても実験、考察する。
- 2.

■ 担当授業科目

1. 応用栄養学Ⅰ（前期）栄養学科 必修
2. 応用栄養学Ⅱ（後期）栄養学科 必修
3. 総合演習Ⅰ（前期）栄養学科 必修
4. 総合演習Ⅱ（前期）栄養学科 必修
5. 応用栄養学実習（前期）栄養学科 必修
6. 管理栄養士演習Ⅰ（前期）栄養学科 選択
7. 臨地実習Ⅰ（前期）栄養学科 選択
8. 実践活動（3年後期～4年前期）栄養学科 選択
9. 栄養学概説（後期）栄養学科 必修
10. 母子栄養学（前期）助産別科 必修
11. 栄養学（前期）福祉学科 養護教諭 必修

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【応用栄養学Ⅰ、応用栄養学Ⅱ、総合演習Ⅱ、栄養学概説】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 視覚教材に Power Point を使用して講義を行っている。文字だけのプレゼンテーションは学生の集中力を低下させるので、写真や図を多く取り入れて視覚的に捉え易い教材になるように努力して作成した。2. 1の教材を印刷したプリントと、関連資料を配布し、重要なところをマークさせた。 また、Power Point 教材だけでは不十分なところについては、板書し、学生に書き取らせることで理解を深めてもらうようにした。板書+スライドで大事なポイントはダブルチェックさせ学生の理解を促した。スライドを印刷したプリントを配布しているが、板書を写すスペースも確保した配布資料の作成を行っている。3. 毎回の講義終了時に、講義内容の小テストを行い、学生に解答してもらった後で、解説した。 この小テストによって学生にその日の講義内容とポイントを復習させた。 以上のことより今後も出来る限り学年の特性に合わせた、かつ重要ポイントを外さない授業計画に配慮する。
2.	<p>授業科目名【応用栄養学実習】</p> <p>毎年度ではあるが、この実習では、管理栄養士として役に立つ知識や技術を身に付けてもらうために、特殊な食品を使用した献立や、日頃家庭では作ることのないライフステージ別の献立を作製させ印象づけるようにした。調理実習では示範時に調理の際の留意点や栄養管理のポイントを説明した。また各ライフステージにおける栄養管理上のポイントを中心にスライドで講義を行い、講義と調理実習をセットで行うことで各ライフステージにおける食生活の違いを視覚的にも聴覚的にも捉えることが出来る講義内容となるように考えた。コロナ感染症等に配慮するため、調理作業中の接触や試食の時間を短くする必要がある、学生は少人数制で重点献立のみの調理とした。今後も学生にとって有意義かつ実践できる実習になるように改善を行っていく。</p>
3.	<p>授業科目名【総合演習Ⅰ、臨地実習Ⅰ】</p> <p>総合演習Ⅰは、臨地実習Ⅰ（小学校、事業所、児童福祉施設、高齢者福祉施設における給食の運営に関わる学外実習）と抱き合わせとなる演習であり、実習前の指導や、課題、媒体作成、プレゼンなど、3人の担当教員および助手教員とともに演習時間外も含め、指導に尽力した。特に、媒体作成に関しては、演習時間外の多くの時間をさいて、学生個々に合わせた個別指導、助言をメールおよびmeetで行った。この科目に関しては、今後も個別指導を徹底していく。</p>
4.	<p>授業科目名【管理栄養士演習Ⅰ】</p> <p>管理栄養士演習（国家試験対策）では、毎回項目別に試験問題を作成し、実施した。それらの問題の解説を行うために、沢山の関連資料を配布し（わかりにくいところや重要項目はポイント集を作成して配布した。）一緒にチェックしていくことで学生の理解を促した。さらにポイントや解説は板書し、学生に書き取らせることで、理解を促した。また正規の講義時間以外に行う、学科が開設している国家試験対策講座においても、同様の演習を実施し、学生への理解を促すことに努力した。今後も継続してこの講義形式で講義を展開していく。</p>
5.	<p>授業科目名【母子栄養学 助産別科】</p> <p>視覚教材に Power Point を使用して講義を行った。文字だけのプレゼンテーションは学生の集中力を低下させるので、写真や図を多く取り入れて視覚的に捉え易い教材になるように努力して作成</p>

	した。母性の栄養補給法に関して、実習先での課題に対するポイントの解説も行った。助産別科の学生は食と栄養に関心が深く、熱心であり、私自身も講義、指導がしやすいと感じている。学生たちも、この講義が助産師として活躍していくときに、役に立つと評価しており、今後も将来役に立つと学生に思ってもらえる講義内容にしていきたいと考える。
6.	<p>授業科目名【栄養学 福祉学科】</p> <p>対象が福祉学科で養護教諭を目指す学生たちのため、栄養のことを少しでも理解してもらい、将来の仕事に活かして欲しいとの思いから、栄養に関する難しい専門用語に関しては、出来る限り噛み砕いて教授するように努力した。毎回の講義終了時に、講義内容の小テストを行い、学生に解答してもらった後で、解説した。この小テストによって学生にその日の講義内容とポイントを復習させた。小テストに感想や質問を書いてくる学生たちが多く、その質問に必ず回答し、返却した。</p>
7.	<p>授業科目名【実践活動】</p> <p>2020年度まで実施していた極低出生体重児の親子遊びの会『ほほえみの会』の後継プロジェクトとして、2021年度より『ほほえみ project』が立ち上がった。2023年度も、看護・福祉・栄養の3学科の学生たちが連携し、八幡病院の小児病棟に入院している子どもたちへ（乳児40名、幼児80名、学童30名）、各ライフステージの成長発達に合わせた知育玩具（クリスマスプレゼント）作りを実施した。プレゼントの企画から、材料購入、そして作製まで、3学科の学生たちが協力して実施した。ゼミを通して、多職種との協働・連携ができる人材や精神の育成（学生教育）を目指したいと考える。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2002年4月～現在に至る	日本栄養士会	
2.	2002年4月～現在に至る	日本栄養改善学会	
3.	2002年11月～現在に至る	日本栄養・食糧学会	
4.	2017年4月～現在に至る	日本スポーツ栄養学会	
5.	2010年4月～現在に至る	日本癌学会	
6.	2012年4月～現在に至る	日本分子生物学会	
7.	2022年4月～現在に至る	日本DOHaD学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)					
1.	2023.9	食育の百科事典	共	丸善出版 日本食育学会編	① 日本食育学会の編集により、食育を食の基礎知識やサステイナビリティ、教育、政策、歴史、文化、そしてその国際的な広がりなど様々な側面から扱った中項目事典である。内

					<p>容は栄養に関することが多岐に渡っている。</p> <p>② 日本食育学会編</p> <p>③ 担当部分：3章 食行動の課題と教育（対象別教育） 成人期、更年期の生理的特徴、栄養学 p. 180-181 総頁 432頁</p> <p>④ A5判</p>
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～2024年3月	北九州市食育推進懇話会 第4次構成員（北九州市健康福祉局 健康推進課）	構成員・座長
2.	2023年12月	北九州市立保育所給食調理業務 受託候補者選定検討会構成員 （北九州市こども家庭局）	構成員
3.	2021年8月～現在に至る	北九州市小児保健研究会	理事
4.	2023年8月29日	北九州市社会福祉協議会 （穴生学舎 健康づくりサポーターコース）講師	講師
5.	2023年9月16日	明日の保育に向けた学び直しのためのシンポジウム（GRE En Child Research Office 主催）	シンポジスト
6.	2024年2月9日	令和5年度 地域でGO!GO! 健康づくり情報交換会（北九州市八幡東区役所） 講話の講師、グループワークの講評	講師

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～現在に至る	教務委員会	
2.	2016年8月～現在に至る	地域連携室 室員（子ども・子育て支援分野）	
3.	2020年4月～現在に至る	学習支援（国家試験対策）委員	
4.	2019年4月～現在に至る	動物実験委員会	
5.	2021年6月～現在に至る	ほほえみ project(ほほえみの会 2014年4月～2020年3月活動終了からの後継 project)	
6.	2023年7月21日	高等学校への模擬授業 ・福岡県立直方高等学校	